

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
<p>1 実践1 【いじめノックアウト集会】</p>	<p>「いじめノックアウト集会」は児童が主体になって「人権の大切さ」についてみんなで考えていく集会である。各クラスでいじめ防止をテーマにした標語を作成し、当日は全校児童の前で発表を行った。他学年のいじめ防止の標語を見ることで児童一人一人がいじめについて考えることができる集会となった。</p> <hr/> <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童自身でいじめ防止について考えることで、いじめについて真摯に向き合い、いろいろな考えを聞き、自分自身を見つめ直す機会になった。 ・全校児童に発表する場を設けたことで、全校児童でいじめ防止を啓発できる機会となった。 <hr/> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各クラスが集会に向けて標語を準備し発表をしたが、「その日だけ」になってしまうことが予想されるため、日ごろからの人権意識を高め継続を図る。
<p>2 実践2 【今日のキラリ、キラリ賞の実施】</p>	<p>「今日のキラリ」は、各学級で毎日帰りの会の中で、その日に頑張っていた友達や、素晴らしい取組や様子について発表し合い、称賛する活動である。また、「キラリ賞」は生活の中で友達のよさを見付け、そのよさについて、校長室で表彰を受ける取組である。表彰は毎月行われて、年間を通して全児童が表彰される。</p> <hr/> <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・称賛を受けた児童は自己肯定感や自己有用感を高めることができ、よりよい人間関係をつくる機会となった。 ・2つの活動を通して友達の良いところを互いに認め合おうとする意識が高まった。今後も継続して取り組んでいきたい。 <hr/> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「キラリ賞」は全員表彰であるが、自分が表彰されるまで「自分にはもらえないかも」と不安に思う児童もいた。教師が普段から児童のよいところを見つけ、本人に伝えていくことがさらに必要である。 ・「今日のキラリ」は紹介される人が限られてしまう傾向があり、週を通してクラス全員が紹介されるように発達段階においての工夫が教師の呼びかけが必要である。